

# 相談室便り

2010.6-9

東洋英和こころの相談室では、皆様により親しみやすく感じていただけるよう、『相談室便り』を発行しております。

当相談室は、地域に開かれた相談室です。何かお困りのことがございましたら、お気軽にご相談下さい。

## こころの相談室ってどんな場所？

東洋英和こころの相談室は、東洋英和女学院大学  
大学院地下2階に開室しています。



## どんな相談を受けているの？

こころの相談室では、さまざまな相談内容に関して心理的援助を行います。

### こどもの問題

不登校、いじめの問題、チック、  
抜毛、発達の違いや発達の遅れ  
に関するご心配など

### 思春期・青年期の問題

ひきこもり、家庭内暴力、性格の悩み、  
友だちとのかかわりに関すること、  
勉強の遅れに関するご心配など

### さまざまなこころの問題

不眠、不安、抑うつ、  
無気力、イライラ、  
過食や拒食など



### おとなの問題

仕事・子育て・家庭の悩み、  
結婚・恋愛に関する問題、  
老いの問題など

### 心理アセスメント

他機関からの紹介により、知能検査、発達検査、性格検査の施行

◎相談内容によっては、当相談室でお引き受けできないこともあります。

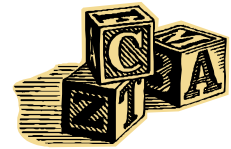
その際には適切な機関をご紹介します。

## どんな人が相談を受けてくれるの？

- ・初回面接は、臨床心理士の資格を持ったものが担当します。
- ・当相談室は、大学院生の研修機関を兼ねています。継続相談は、教授陣・  
専門家等の指導の下、原則として臨床心理学の専門的訓練を受けた大学院  
生・修了生等が担当します。

## どんな方法で面接をするの？

ことばによる面接、ユング分析心理学的な心理療法、箱庭療法、プレイセラピー、心理アセスメントを行います。



## 申込みはどうすればいいの？

相談は完全予約制です。お電話でお申し込み下さい。



こころの相談室についての詳しい情報は、ホームページでもご覧いただけます

<http://www.toyoeiwa.ac.jp/daigakuin/index.html>

## スタッフ紹介 ～ 松井華子先生 ～

～ 4月より、松井華子講師（臨床心理士）をお迎えしました ～

はじめまして。4月より相談室スタッフに加わりました松井と申します。

私は、福岡で生まれ育ち、その後を京都で過ごしました。そしてこの春から、東京で生活をしています。東京に越してきてすぐは、初めての東日本での生活に緊張をし、大丈夫だろうかと不安になっていました。

そんなある日、東京のお店でうどんを食べました。よく知られているように、うどんは出汁が東西で違っています。西日本の文化で育った私は、東京のお店で出されるうどんに興味半分、不安半分でした。そして食べてみて、とてもおいしく感じたことに安心し、嬉しく思いました。その一方で、「これが私にとってのうどんの味」という感覚にまでなることがあるだろうかと考えました。

異なる地で異なる空気の中に育っても、言葉が通い合い、何かが分かり合えるというのは、同じ日本の地にあっては当たり前のように思われます。けれども、よく考えてみるととても不思議なことです。そしてもっと大事なことは、分かり合えたと思った先にはどうしても自分には分かり得ないこともあって、でもそれでも一緒にやっっていこうという感覚を持つことができるのだということです。これは、相談室に来られる方のお話を聞き、共に遊び、その世界を探っていくという心理臨床の営みともつながることだと思います。

心理臨床の道に入って、初めて活動の土地を移し、今あらためて、人と人とが共にいることの不思議さが新鮮に迫ってきます。その感覚を運んでくれたということ一つとっても、この相談室の一員となったことはとても大きな出会いであったと感じています。閉め切っていた部屋に風が吹きこむようなこの感覚を、いつまでも忘れずに過ごすことができたらいいなと、そんなふうに思っています。

発行 東洋英和こころの相談室 TEL 03-3583-7463

開室時間 月～金曜日 午後2時～午後8時 木曜日 午後1時～午後8時  
土曜日 午前9時～午後6時 休室 日曜日・祝日